

## 職業実践専門課程の基本情報について

平成29年9月1日現在

学校名		設置認可年月日	校長名	所 在 地		
成田つくば航空専門学校		平成2年11月8日	柿崎 明人	〒302-0004 茨城県取手市取手西野1842 (電話) 04-7188-7787		
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人筑波研究学園		昭和62年2月6日	柿崎 明人	〒300-0811 茨城県土浦市上高津1601 (電話) 029-822-2452		
目的	航空機整備に関する基本技術や専門的基礎知識を学び、整備業務に必要な知識と技術を習得するとともに、航空機整備の実務体験を通じて航空従事者にふさわしい人材の育成を目指す。					
分野	課程名	学 科 名		専門士	高度専門士	
工業	専門課程	航空整備学科 航空機整備訓練コース		平成28年文部科学 大臣告示第19号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実験	実習
2年	昼間	1,772 (時間)	830 (時間)			942 (時間)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		11人	8 人	7 人	15 人	
学期制度	■前期： 4月1日～ 9月30日 ■後期： 10月1日～翌 3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 基準：各座学・実技試験にて70点以上を合格 とする。 方法：出席、定期試験、基本動作、実技能力、 実習態度等による総合的評価	
長期休み	■学年始め： 4月 1日～ 4月 5日 ■夏 季： 8月 1日～ 8月31日 ■冬 季： 12月 24日～ 1月 6日 ■学 年 末： 3月 17日～ 3月31日			卒業・進級 条件	所定の出席時間及び所定の成績にて進級・卒業判定する。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談・三者面談の実施、補講・補習、特別カリキュラムの実施			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有) 無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空運送関連業界・航空機等製造業界等 ■就職率※1 100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% ■その他 (平成28年度卒業者に関する 平成29年度3月31日時点の情報)			主な資格・ 検定	航空特殊無線技士 危険物取扱乙4 英語検定 自由研削砥石交換/試運転研修 等	
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日 在学者 20名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日在学者 20名 (平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 欠席した学生に対する連絡、連続して欠席している学生については、早い時期に個人面談や保護者 を交えた三者面談（担任・学科、必要に応じて部門同席）等を実施する					

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。  
(「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

「実学重視」をすべての学科における教育の基本と位置付けている。それを実現するため、時代の変化に的確に対応し、航空業界の発展に貢献する人材育成を目指し、関連する業界団体や企業の担当者との組織的な交流を通して、常に教育課程の改善を図ることを基本方針とする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 29 年 6 月 1 日現在

名 前	所 属
中満 悅郎	公益社団法人 日本航空技術協会 事務局長
新藤 秀明	日本飛行機株式会社 人事総務部 人材育成課長
谷村 隆士	株式会社 I H I 航空宇宙事業本部 武藏総務部 主査
押尾 伸一	株式会社 J A L エンジニアリング部品サービスセンター 無線課
柿崎 明人	成田つくば航空専門学校 校長
山口 繁則	成田つくば航空専門学校 副校長
檜山 直己	成田つくば航空専門学校 事務部長
山本 卓二	成田つくば航空専門学校 教務部長
春日 由光	成田つくば航空専門学校 進路渉外部長・学生部長
谷 修	成田つくば航空専門学校 航空工学科 学科長
藤井 伸一	成田つくば航空専門学校 航空整備学科 学科長
井上 嘉秋	成田つくば航空専門学校 航空整備学科 主席学科教官
久保 嘉孝	成田つくば航空専門学校 航空整備学科 主席実技教官
染谷 真	成田つくば航空専門学校 教務学生副部長

### (開催日時)

平成 28 年度 第 1 回 平成 28 年 8 月 8 日 14:00~16:00

平成 28 年度 第 2 回 平成 28 年 9 月 23 日 14:00~16:00

平成 29 年度 第 1 回 平成 29 年 8 月 8 日 13:00~14:30

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- 日々進化する航空機の最新技術を授業に取り入れ、航空機整備に関する知識とスキルの習得と興味関心の喚起を目的とする。
- 航空業界の最新動向や求められる人材像等について企業等と連携して、日頃の学習内容の理解を深めると共に、社会人意識の涵養を目的とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
機体実習・発動機実習・電子装備品実習	航空機の機体構造/システムに関する理論や構造及び航空機用発動機に関する理論や構造を学び、飛行機やタービン発動機に関する知識を習得する。	株式会社 J A L エンジニアリング (H28年11月 1年生)
発動機実習	航空機用発動機に関する概論や構造を学び、タービン発動機に関する知識を習得する。	株 式 会 社 I H I (H28年6月 2年生)
整備の基本技術	航空機に使用される多種多様な非金属材料の一つである、FRP 複合材を用いた構造部材の製造工程における工程管理の重要性・必要性を認識すると共に、バリエーション豊富な作業の実態を学習する。	日本飛行機株式会社 (H28年7月 2年生)
整備の基本技術	グラインダーおよびその付属設備の整備・保全・適正な作業管理の遂行を徹底して行う知識と技術を習得する。	ニューレジストン株式会社 (H28年11月 1年生)

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

- ・航空機や装備品整備の施設・設備・整備の流れや人員配置・修理改造等関連する法規による動向を確認し、カリキュラムや授業に反映する。
- ・企業が求める人材像、業務を完遂できる整備士像に結びつく、基本的事項である整理整頓、清掃、身だしなみ、挨拶ができる生徒を育成する機会とする。

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 6 月 1 日現在

名 前	所 属
中満 悅郎	公益社団法人 日本航空技術協会 事務局長
福田 和磨	株式会社 JAL エンジニアリング 統括マネジャー
新藤 秀明	日本飛行機株式会社 人事部 人材育成課長
谷村 隆士	株式会社 IHI 航空宇宙事業部 武藏総務部 主幹
栗川 勇太	株式会社インテックス 業務部業務課 課長
高野 裕二	アイベックスアビエイション株式会社 安全管理部長
小川 浩一	アイベックスアビエイション株式会社 整備部長
古谷 豊	取手市小堀地区 区長
渡邊 和浩	成田つくば航空専門学校 保護者 代表
小林 まい子	成田つくば航空専門学校 保護者 代表
東屋 善昭	成田つくば航空専門学校 保護者 代表
古橋 幸雄	成田つくば航空専門学校 保護者 代表
伊大知 竜太	成田つくば航空専門学校 卒業生 代表
梶ヶ谷 遥輝	成田つくば航空専門学校 卒業生 代表
郡司 拓弥	成田つくば航空専門学校 卒業生 代表
大本 達也	成田つくば航空専門学校 卒業生 代表
柿崎 明人	成田つくば航空専門学校 校長
山口 繁則	成田つくば航空専門学校 副校長
檜山 直己	成田つくば航空専門学校 事務部長
山本 卓二	成田つくば航空専門学校 教務部長
春日 由光	成田つくば航空専門学校 進路涉外部長・学生部長
谷 修	成田つくば航空専門学校 航空工学科 学科長
藤井 伸一	成田つくば航空専門学校 航空整備学科 学科長
佐藤 宣知	成田つくば航空専門学校 航空ビジネス学科 学科長
染谷 敏文	成田つくば航空専門学校 総務課長
染谷 真	成田つくば航空専門学校 教務・学生副部長

#### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.n-tac.ac.jp/>

#### (情報提供の方法)

URL: <http://www.n-tac.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 航空整備学科 航空整備士コース) 平成29年度(1学年)													
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数(時限)	単位数	授業方法			場所		教員	企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	
○		ホームルーム、就職指導	学生生活での一般的指導、就職活動に向けた対応につき学習する。	1後	5		○			○	○		
○		一般教養(SPI)	社会人として一般教養の基礎能力を高めると共に、就職試験に取り入れられている適正検査を事前に学習する。	1後	5		○			○	○		
○		英会話	外国人教師による英会話能力を高め、航空機整備・関連業務に役立たせる。	1通	35		○			○	○		
○		危険物取扱	航空整備業務関連する危険物取扱を学び、危険物乙4類の資格取得を目指す。	1後	15		○			○	○		
○		航空基礎	航空機整備に関連する業務英語の基本/基礎数学の基本/基礎物理の基本を習得する。	1通	35		○			○	○		
○		航空法規	航空機整備業務に必要な航空法やその関連規則を学び、飛行機に関する知識を習得する。	1通	35		○			○	○		
○		航空力学	航空機の飛行に関する理論を学び、飛行機に関する知識を習得する。	1通	50		○			○	○		
○		機体構造	航空機の機体構造に関する理論や構造を学び、飛行機に関する知識を習得する。	1通	35		○			○	○		
○		システム	航空機システムに関する理論や構造を学び、飛行機に関する知識を習得する。	1通	35		○			○	○		
○		航空計器	航空機の計器関係装備品に関する理論や計器の構造を学び、飛行機に関する知識を習得する。	1通	35		○			○	○		
○		航空電子・電気基礎	航空機の電子・電気に関する理論を学び、飛行機に関する知識を習得する。	1通	53		○			○	○		
○		航空電子・電気装備	航空機装備品に関する理論や構造を学び、飛行機に関する知識を習得する。	1後	20		○			○	○		

○		航空機器・航空電気電子実習	航空機装備品に関する構造や取付状況等を実機で確認し、飛行機に関する知識を習得する。	1 後	企 業 応 需			○	○	○	○	○
○		プロペラ	航空機用プロペラに関する理論や構造を学び、ピストン発動機、タービン発動機との関連知識を習得する。	1 通	35		○		○	○		
○		タービン発動機	航空機用発動機に関する理論や構造を学び、タービン発動機に関する知識を習得する。	1 通	61		○		○	○		
○		タービン発動機実習	航空機用発動機に関する構造や取付状況等を実機で確認し、タービン発動機に関する知識を習得する。	1 後	企 業 応 需		△		○	○	○	○
○		機体実習I	航空機の機体構造／システム構造を実機にて確認し、飛行機に関する知識を習得する。	1 後	59			○	○	○		
○		機体実習	航空機の機体構造／システム構造・発動機・装備品を実機にて確認し、飛行機に関する知識を習得する。	1 通	企 業 応 需			○	○	○		○
○		電気実習	航空機装備品に関する構造や取付状況等を実機で確認し、飛行機に関する知識を習得する。	1 前	28			○	○	○		
○		整備に必要な技術I	セスナ 152 及びセスナ 172 による基本構造、作動、地上取扱い、注意事項等の理解、整備士としての知識技能を習得する。	1 通 後	47			○	○	○		
○		整備の基本技術	航空機の基本技術を学び、航空機整備の基本の知識を習得する。	1 通	186		△		○	○	○	
○		整備の基本技術実習	基本技術のベンチ作業に於けるグラインダーおよびその付属設備の整備・保全・適正な作業管理の遂行を徹底して行う知識と技術を習得する。	1 後	企 業 応 需		△		○	○	○	○
○		審査・試験	航空機整備の基本技術や専門知識の試験を通じて、知識のレベルアップを計る。	1 通	61		○		○	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 航空整備学科 航空整備士コース) 平成29年度(2学年)													
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員	企業等との連携	
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○		ホームルーム、就職指導	学生生活での一般的指導、就職に向けて、履歴書作成、面接対応シミュレーションを行う	2通	51		○			○		○	
○		一般教養(SPI)	社会人として一般教養の基礎能力を高めると共に、就職試験に取り入れられている適正検査を事前に学習する。	2前	24		○			○		○	
○		情報処理	Excel/Word やその他関連するコンピュータの基礎を習得する。	2通	70		○			○		○	
○		英会話	外国人教師による英会話能力を高め、航空機整備・関連業務に役立たせる。	2通	35		○			○		○	
○		造形工作	作図知識に基づいて航空機図面を作成し、基本技術全般の習得を目指し、「ものづくり」の基礎を学ぶ。	2後	38				○	○		○	
○		航空基礎	航空機整備に関連する業務英語の基本を習得する。	2通	35		○			○		○	
○		機体実習Ⅱ	シャイアン機をベースに航空機の機体構造／システム構造を実機にて確認し、飛行機に関する知識を習得する。	2通	55				○	○		○	
○		シャイアン装備実習-ATA24Ⅱ	シャイアン機の電源システムの知識と構成部品、作動原理を実機にて確認し、シャイアン機に関する知識を習得する。	2前	36				○	○		○	
○		シャイアン装備実-ATA22, 23, 34Ⅱ	シャイアン機の航空計器、航法システム、通信システム、A/P-F/D の構成部品、作動原理を実機にて確認し、シャイアン機に関する知識を習得する。	2後	35				○	○		○	
○		シャイアン装備実-ATA31, 33Ⅱ	シャイアン機の飛行計器類、航法計器類、機内／機外照明の構成部品、作動原理を実機にて確認し、シャイアン機に関する知識を習得する。	2前	18				○	○		○	
○		プロペラ	シャイアン機に装備されているプロペラに作用する力や制御装置及び付属品、指示系統、プロペラ整備に関する知識を習得する。	2後	8				○	○		○	

○		タービン発動機実習 (PT6)	航空機のタービンエンジンの概要、PT6 タービンエンジンの特徴、基本構造、各種系統ならびに材料について、その概要を習得する。	2 後	23				○	○	○		
○		タービン発動機実習 (CT58)	タービン発動機の分解組み立ての概要、タービンエンジンの分類、特徴及び基本構造、推力、軸推力や各種系統ならびに燃料、滑油や材料について、分解組み立てを通じてその概要を習得する。	2 前	66				○	○	○		
○		発動機実習	航空機用発動機に関する概論や構造を学び、タービン発動機に関する知識を習得する。	2 後	企業 応 需		△		○	○	○	○	
○		整備に必要な技術 II	シャイアン機の基本構造、作動、地上取扱い、注意事項等の理解、整備士としての知識技能を習得する。	2 通 前	38				○	○	○		
○		整備の基本技術	航空機の基本技術を学び、航空機整備の基本の知識を習得する。	2 通	133		△		○	○	○		
○		整備の基本技術実習	航空機に使用される多様な非金属材料の一つであるFRP複合材を用いた構造部材の製造工程における工程管理の重要性・必要性を認識すると共に、バリエーション豊富な作業実態を学習する。	2 後	企業 応 需		△		○	○	○	○	
○		審査・試験	航空機整備の基本技術や専門知識の試験を通じて、知識のレベルアップを計る。	2 通	35		○			○	○		
合計			41 科目	1772 時間									

卒業要件及び履修方法	授業時間等	
当該学科の修業年限を在学し、学科が成績基準を満たした者。授業科目の履修は、出席状況、定期試験、基本動作、実技能力等評価の結果による。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	20/20 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実習又は実技のうち二以上の方の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、他の方法について△を付すること。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すること。